

「真駒内の未来を考えるまちづくりアイデアコンペ」に関するご質問への回答

1 駒岡清掃工場の廃熱利用について

現行施設の規模・建設概要等について教えてください。

駒岡清掃工場の建設概要及び設備概要については、以下のとおりです。

○建設概要

所在地：札幌市南区真駒内 602 番地

敷地面積：59,504 m²

施設規模：建築面積 7,182 m²、延床面積 20,933 m²

建設費：14,202,000 千円

工事期間：昭和 56 年 8 月～昭和 60 年 11 月

機種及び能力：600 t /24H (300 t)

○設備概要

計量装置：トラックスケールロードセル方式 3 台

ごみ供給設備：ピットアンドクレーン方式 2 台

ガス冷却設備：自然循環式ボイラ 44.52t/h 2 式

燃焼設備：タクマHL-2022 型 2 式

除じん設備：バグフィルタ（ろ過式集じん機）2 式

灰処理設備：灰ピット 600 m³・灰クレーン 1 台

排ガス処理設備：消石灰吹込方式 2 式

復水設備：高圧蒸気コンデンサ、低圧蒸気コンデンサ 各 2 式

通風設備：平衡通風方式 2 式

余熱利用設備：発電 2,480kw×2 基、保養センター駒岡、地域暖房 ほか

現在、熱供給を行っているエリアと規模（熱量・利用世帯・人口等）について教えてください。

駒岡清掃工場のごみ焼却廃熱を活用した真駒内地域の熱供給システムの概要については、北海道地域暖房株式会社ホームページ (<http://www.chidan.co.jp/web/>) をご確認ください。

《参考》

・北海道地域暖房株式会社パンフレット <http://www.chidan.co.jp/web/brochure/>

- ・真駒内供給エリア概要図 <http://www.chidan.co.jp/web/district-heat/area/makomanai/#>
- ・真駒内エネルギーセンター概要 <http://www.chidan.co.jp/web/district-heat/area/>

現況のコジェネレーションの稼働内容（熱量、発電量等）について教えてください。

駒岡清掃工場では、一般的な廃熱を利用するコジェネレーションとは仕組みが異なり、ごみを焼却した際に発生する大量の熱エネルギーをボイラーで熱吸収し、その余熱を利用して発電し、工場内で使用するほか、余った電力を売却しています。また、暖房、ロードヒーティング等に利用するため工場の内外へ余熱を供給しています。

なお、平成 24 年度の実績は以下のとおりです。

○発電量：年間 20,619,440kWh 月平均 1,718,287kWh

○売電量：年間 6,841,812kWh 月平均 570,151kWh

○発電に使用している熱量：年間 74,230GJ 月平均 6,185GJ

《参考》

- ・地域暖房に供給している熱量：年間 40,352GJ 月平均 3,362GJ
- ・保養センターで使用される熱量：年間 10,103GJ 月平均 841GJ

コジェネレーションの将来計画（供給余力の将来構想）について教えてください。

駒岡清掃工場更新時には、エネルギーセンターとしての機能の充実を図るため、高効率な熱回収システムの導入を予定しています。夏場の発電量を現在の約 2 倍、冬場の余熱供給量を現在の約 3 倍に強化することを検討しています。

駒岡清掃工場の設備更新などについて教えてください。

札幌市では、3か所ある清掃工場のうち、最も稼働期間の長い駒岡清掃工場について、平成 36 年度の稼働を目指して、更新を計画しています。施設規模は現工場と同規模の日量 600 トンの処理能力を想定しておりますが、詳細については、現在検討を進めているところです。

駒岡清掃工場に関しては、下記問い合わせ先までご連絡ください。

《問い合わせ先》

- ・札幌市環境局環境事業部施設管理課 TEL 211-2922

2 札幌市における自然エネルギーの現況と将来計画について

札幌市における自然エネルギーの現況と将来計画について、札幌市全体の計画と併せて、南区版の計画があれば教えてください。

札幌市では、今後の新たなエネルギー施策の指針となる「札幌市エネルギービジョン」の策定に向けてパブリックコメントを実施しています。

このエネルギービジョンは、東日本大震災とそれに伴う福島第一原子力発電所の事故をきっかけとして、「低炭素社会」と「脱原発依存社会」を目指してまちづくりを進めている札幌市が、そのエネルギー施策の指針として具体的な目標値や必要な取り組みなどをまとめたものです。

今後、市民の皆さんから寄せられるご意見を踏まえて、平成 26 年 8 月ごろに本エネルギービジョンを策定する予定です。なお、現時点では南区版など区ごとの計画はございません。

詳しくは下記リンクをご確認ください。

○札幌市エネルギービジョン（案）パブリックコメント

<http://www.city.sapporo.jp/energy/vision/>

3 札幌市の行政組織機構図について

札幌市の行政組織機構図は、どちらで入手できますか。

札幌市機構図（平成 26 年度版）は、札幌市役所本庁舎 2 階の市政刊行物コーナーで購入できます。価格は 100 円です。詳しくは下記リンクをご確認ください。

○有償刊行物一覧 <http://www.city.sapporo.jp/somu/kokai/shiichiran.html>

○購入方法 <http://www.city.sapporo.jp/somu/kokai/shihouhou.html>

4 提出物・仕様について

4名以上のグループで作品を提出する場合、応募作品提出票（様式2）にはどのように記載すればよいでしょうか。

4名以上のグループで作品を提出する場合には、代表者が共通の応募作品提出票（様式2）を複数枚ご提出ください。（例：10名のグループであれば3枚提出）

パネル応募の部（総合提案）の提出物である提案趣旨説明書（様式3）に枚数の制限はありますか。

提案の趣旨をA4判1枚にまとめて提出して下さい。

5 公開審査について

募集要項（4ページ）に、「公開プレゼンテーションに参加できない場合は、賞は授与しません。」とありますが、A4判応募の部でも同様でしょうか。

A4判応募の部については、平成26年8月下旬に実施する予定の審査委員会により入選作品を選定することとしており、公開プレゼンテーション審査は実施しません。

よって、平成26年10月19日（日）に開催予定の「公開プレゼンテーション審査（パネル応募の部）及び表彰式」にご出席いただけない場合でも、賞は授与いたします。

グループで作品提出する場合、平成26年10月19日（日）に開催予定の公開プレゼンテーション審査への参加に当たり、グループ登録者全員の出席は必要ですか。また、事前登録において未登録の者の出席は可能ですか。

共同提案者全員で公開プレゼンテーション審査にご出席いただく必要はございません。応募作品とともにご提出いただく応募作品提出票（様式2）にご署名・捺印いただいた方のうちいずれかの方がご出席ください。

また、事前登録の際には未登録であっても、応募作品提出票にご署名・捺印いただいた方であれば、公開プレゼンテーション審査にご出席いただけます。